



# 道内のSDGsに関する分析と今後の方向性

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



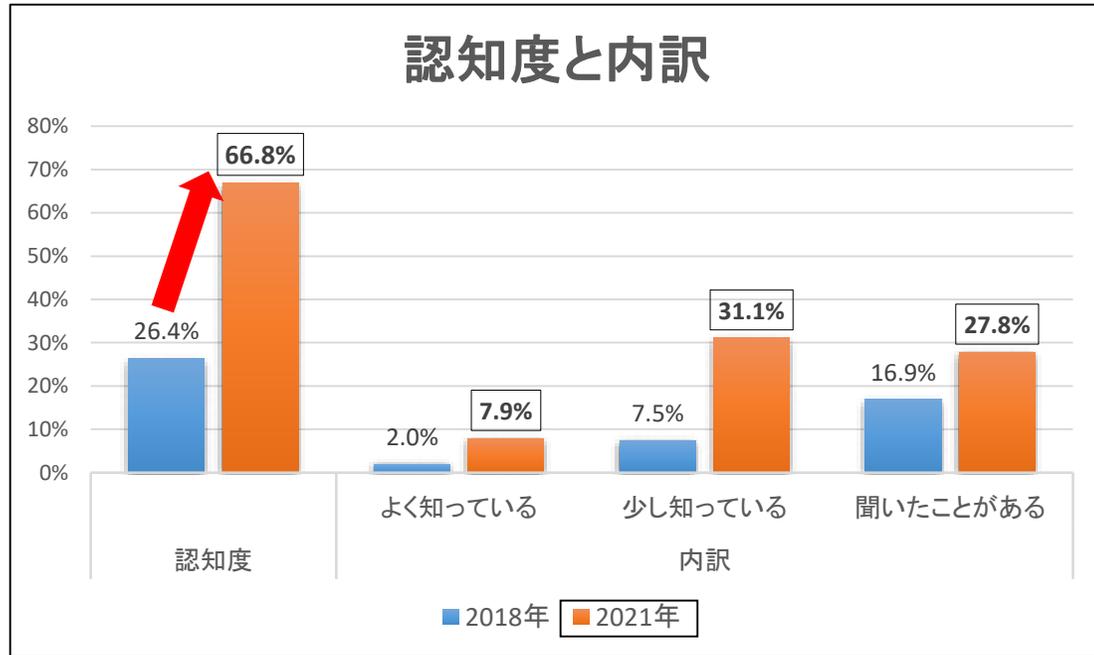
## <趣旨>

- 道内におけるSDGsの普及状況等について、各種アンケート調査結果などを踏まえてその傾向等について分析
- 分析結果を踏まえ、今後の道における取組の方向性を整理

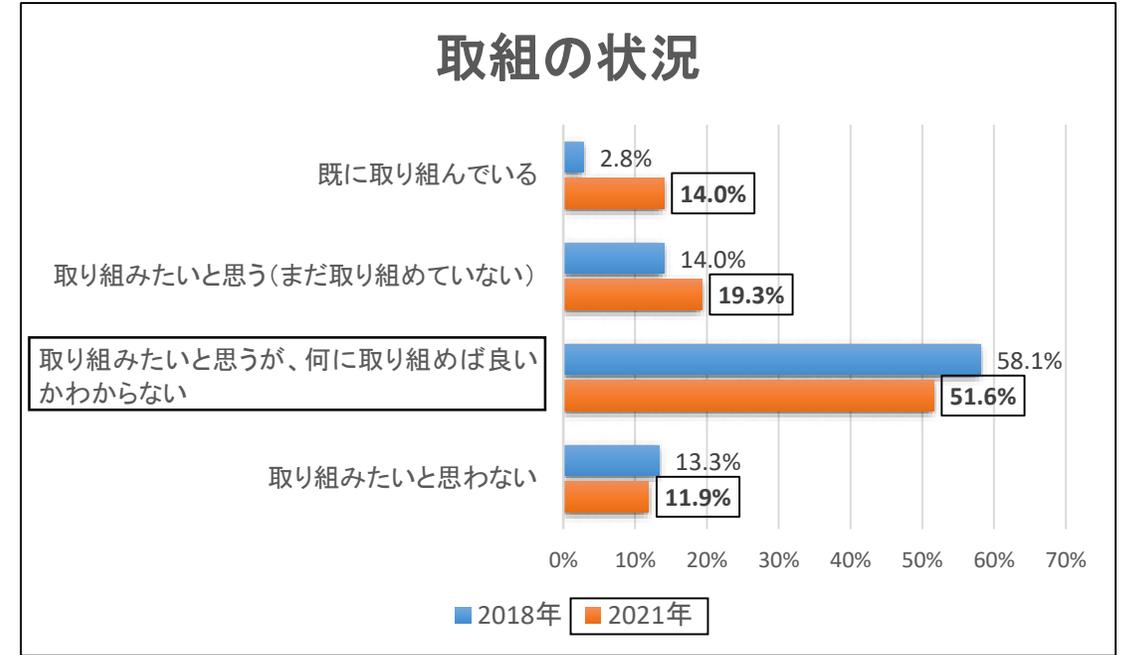
## <出典>

- ・ 道民意識調査(平成30年8月、令和3年9月 北海道)
- ・ 北海道SDGs推進ネットワーク会員アンケート(令和2年10月 北海道)
- ・ SDGsに関する市町村向けアンケート(令和2年3月 北海道)
- ・ 第4回「SDGsに関する生活者調査」(令和3年1月 株式会社電通)
- ・ SDGsに関する道内企業の意識調査(令和2年7月、令和3年6月 株式会社帝国データバンク札幌支店)
- ・ SDGsに関する企業の意識調査(令和3年6月 株式会社帝国データバンク)
- ・ 都道府県別地方創生SDGsの達成に向けた取組を推進している自治体割合(令和3年11月 内閣府)
- ・ 地方公共団体のための地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン2020年度【第1版】(令和2年10月 内閣府)
- ・ 各自治体ホームページ

# 分析結果(道民)



※出典:道民意識調査(R3、H30 北海道)

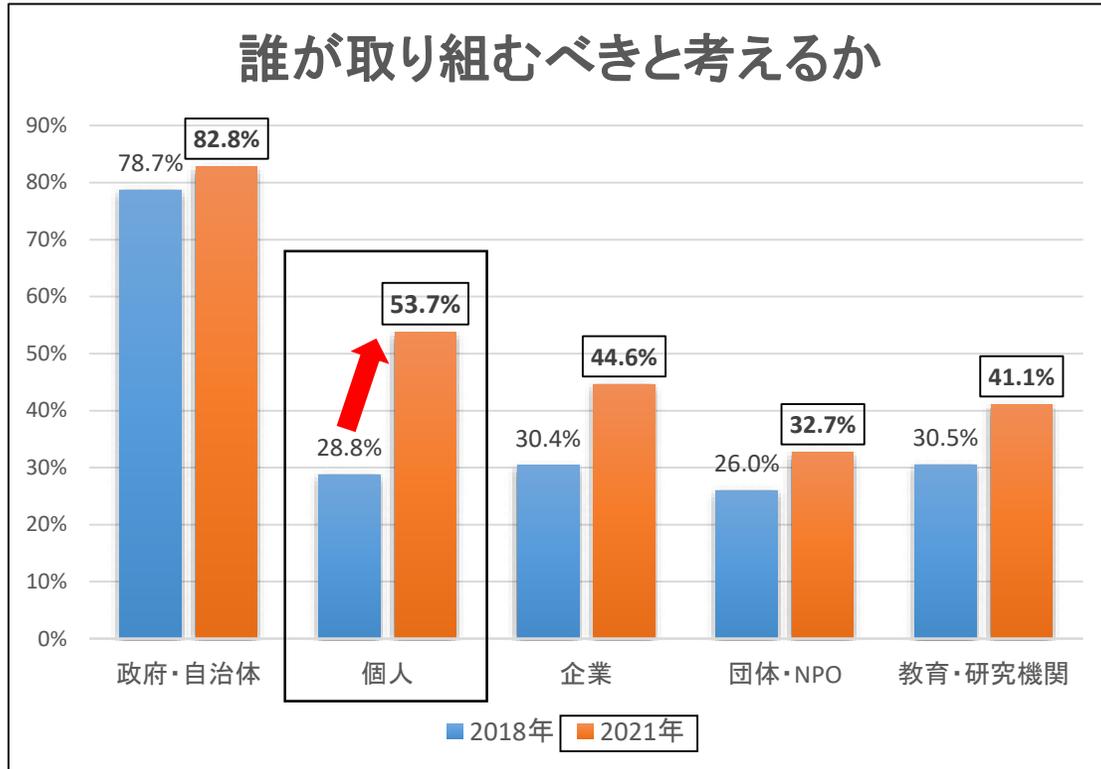


※出典:道民意識調査(R3、H30 北海道)

\* 道民の認知度は3年間で大きく向上  
～メディアなどの露出アップが要因と考えられる

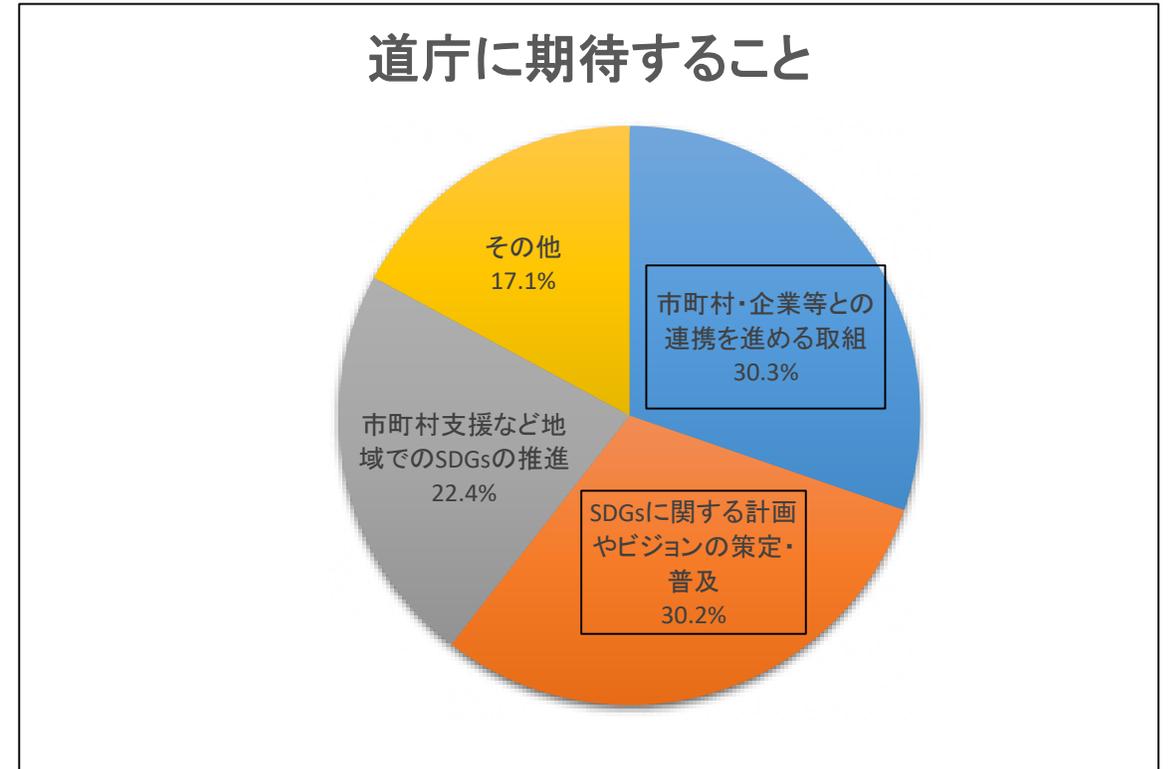
\* 何に取り組んだらわからない人が多い  
～SDGsをよく知らないためと考えられる

# 分析結果(道民)



※出典:道民意識調査(R3、H30 北海道)

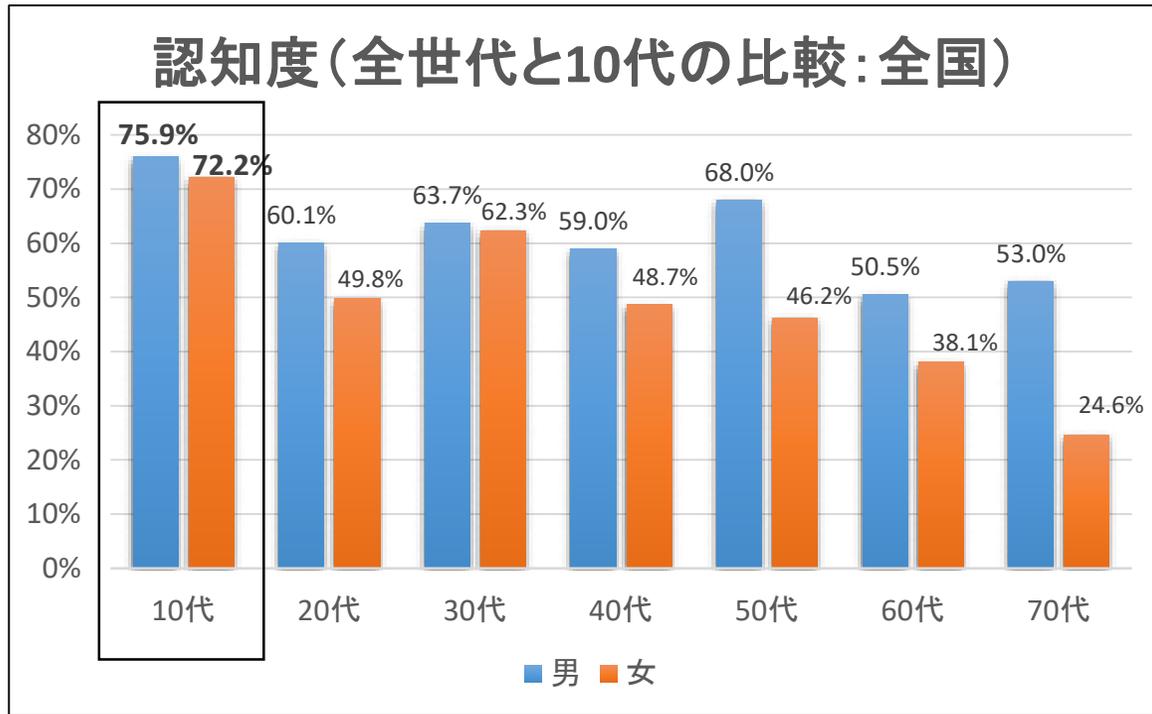
\*「政府・自治体」が大多数だが、「個人」がかなり上昇している



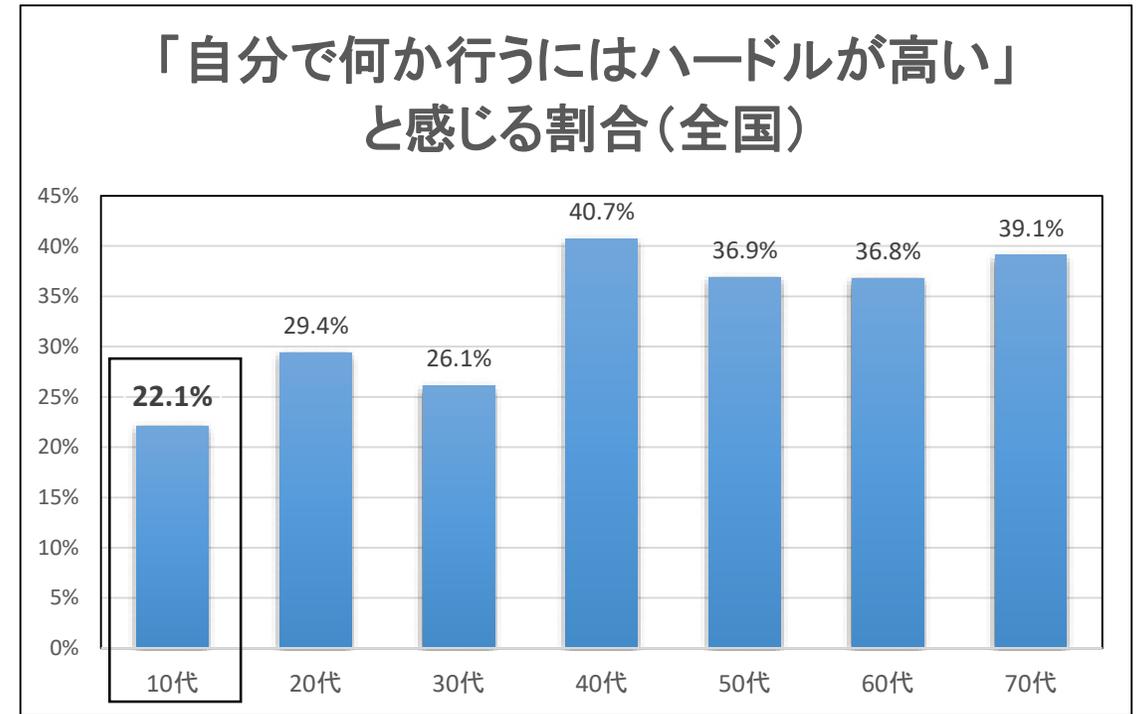
※出典:道民意識調査(R3 北海道)

\* ステークホルダーとの連携・調整役のほか、SDGsのビジョン等の普及を求める声大きい

# 分析結果(道民)



※出典:第4回「SDGsに関する生活者調査」(R3 電通)



※出典:第4回「SDGsに関する生活者調査」(R3 電通)

\* 10代の認知度が全年代で最も高い

\* 10代がSDGsの実践に最も抵抗感が低い

# 分析結果(道民)

○認知は今後も向上していくものと予想  
～認知から行動への転換を促進する必要

○個人の行動が必要との認識が大きく増加  
～取組を拡大できるチャンス

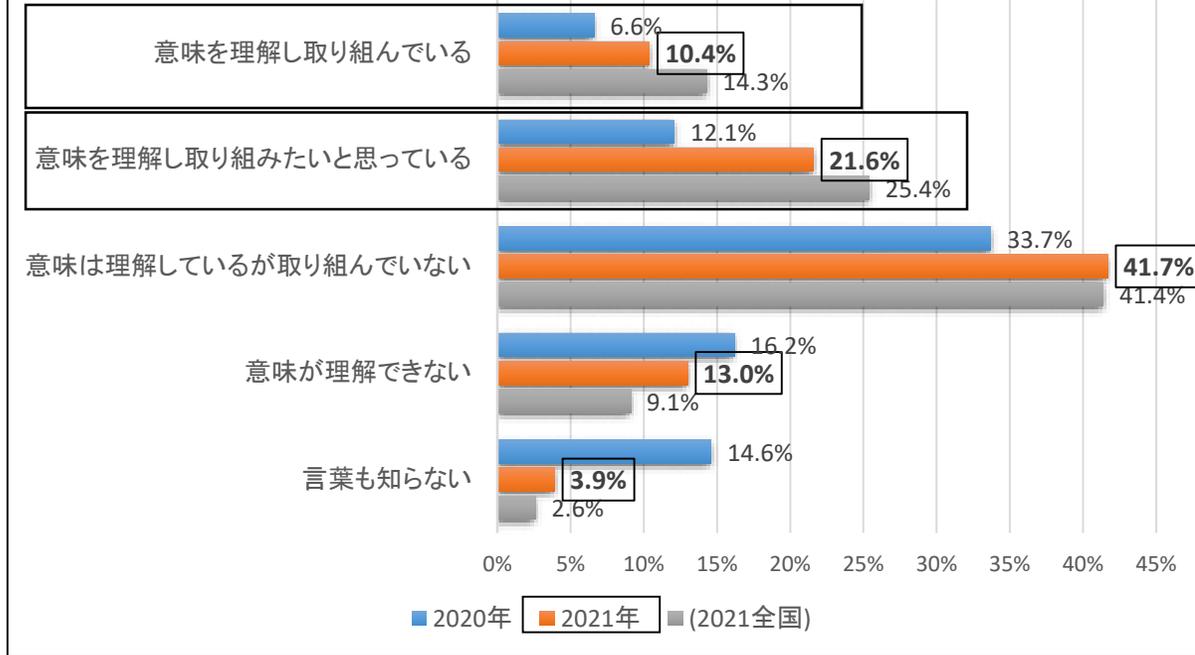
○道民が自治体に何を求めているのか  
～道は基本的な方向性と関係者の調整役としての役割。では市町村は？  
→住民に最も身近な存在として「住民と共に取り組む」役割を求められているのでは

○10代はSDGsへの関心が高く、活動することに抵抗がない。  
→次世代を担う若者を中核に据えて活動することで、周りの親・大人たちを巻き込んでいけるのでは

○SDGsのビジョンの普及を求めるニーズへの対応  
～ビジョンの内容(めざす姿、優先課題等)は2030年までの長期的な方向性を示したものであり、  
現在の経済社会情勢にも適切に対応  
→道民の新たなニーズ(具体的な取組を知りたい)に対応するため、ビジョンの内容をより分かりやすくした上で、広く情報発信する必要がある

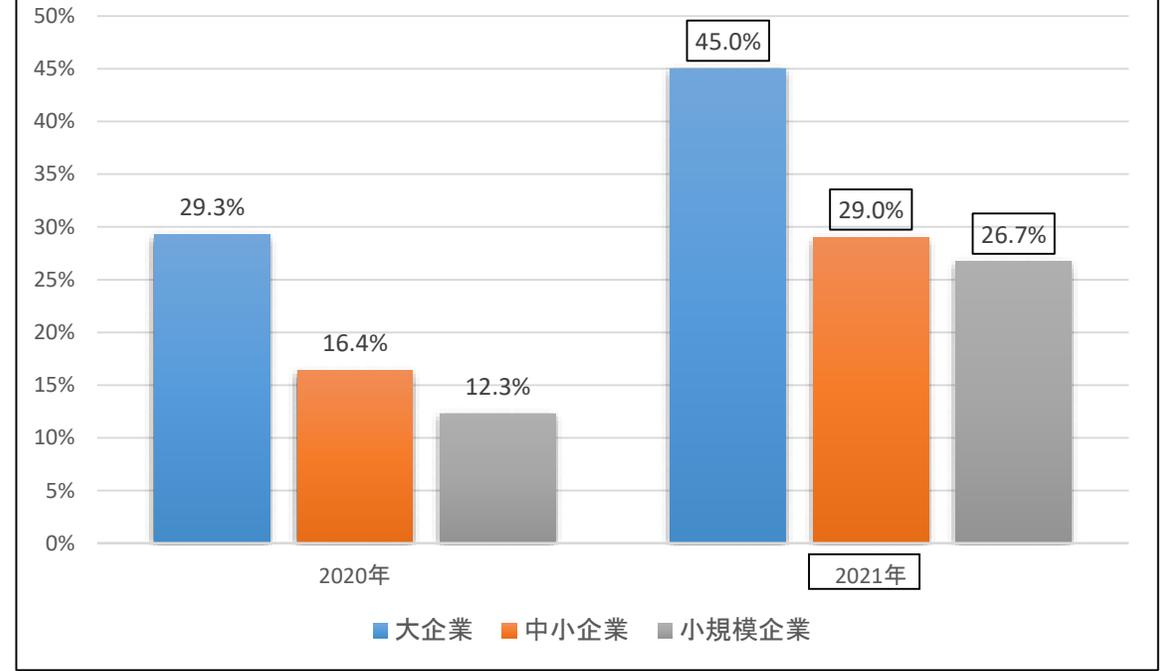
# 分析結果(企業)

## 取組の状況



※出典:SDGsに関する道内企業の意識調査、SDGsに関する企業の意識調査(R3 帝国データバンク)

## 取組に積極的な企業の割合



※出典:SDGsに関する道内企業の意識調査(R2、R3 帝国データバンク)

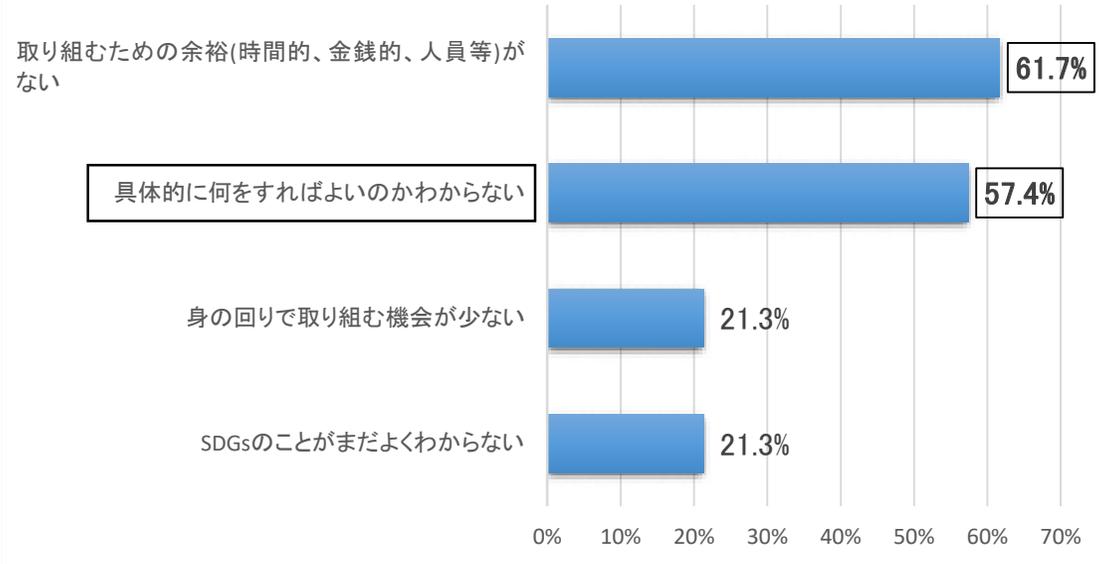
\* 認知・取組ともに向上しているが、  
実際に取り組んでいる企業は1割程度。  
全国と比較しても、低い状況

\* 積極的な企業<sup>(注)</sup>は大企業では半数近くであるが、  
中小企業は3割程度(2021年)

注:「積極的な企業」とは、左記グラフにおける  
「意味を理解し取り組んでいる」「意味を理解し取り組みたいと思っている」と回答した企業

# 分析結果(企業)

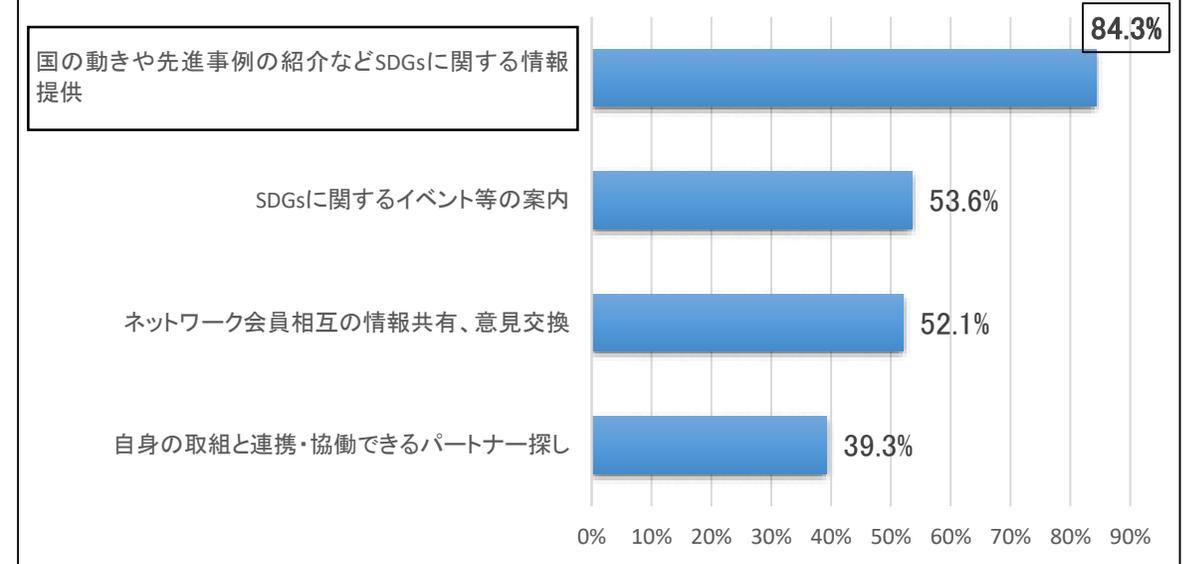
## 取組に踏み出せない理由



※出典:北海道SDGs推進ネットワーク会員アンケート(R2 北海道)

\*「余裕がない」と「何に取り組んだらよいかわからない」が半数以上

## ネットワークに期待すること



※出典:北海道SDGs推進ネットワーク会員アンケート(R2 北海道)

\*「SDGsに関する情報提供」が多数

※知りたい情報は、「具体的な取組事例」「セミナー開催情報」など  
(R3セミナー参加者アンケート)

# 分析結果(企業)

## <地方創生SDGs登録・認証等制度について>

### ○ 制度の概要と目的

- 地方公共団体が、地方創生SDGsに貢献しようとする地域事業者等を「見える化」し、地域金融機関の支援の補助材料にすることで地域経済を活性化し、自律的好循環の形成の土台を築くもの
- 「宣言」「登録」「認証」の3制度を設定
- 制度の創設、運用は地方公共団体が行うものとし、内閣府が制度創設に向けたガイドラインを作成

### ○ 各制度の違い

	宣言	登録	認証
概要	取り組む意思の宣言	取組の表明・自己評価	取組の第三者による評価
対象	取組を行っている、又はこれから取り組む意欲のある事業者等	取組を行っている事業者等	取組を行っている事業者等



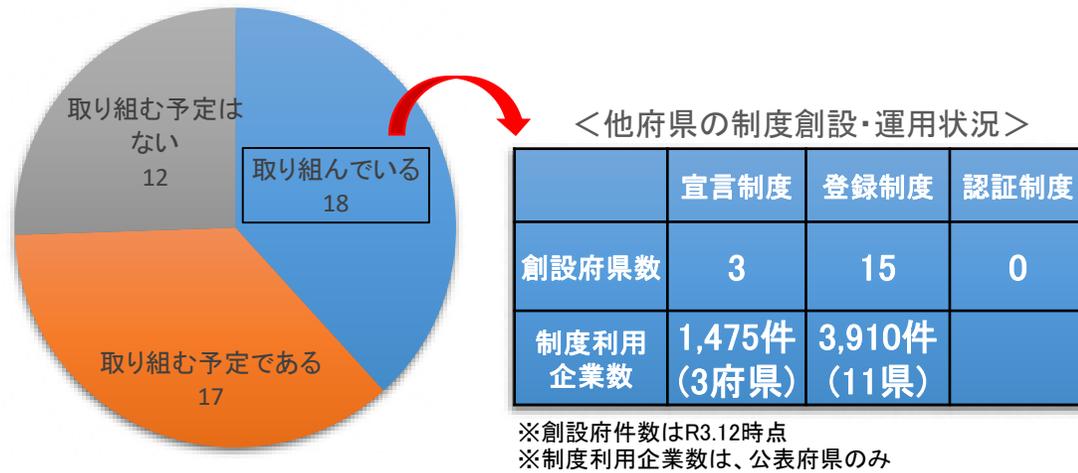
制度構築に当たっての3つの制度モデル

制度主旨(共通)：地方創生SDGsに貢献する地域事業者等の「見える化」を通じた自律的好循環の形成

	宣言	登録	認証
概要	地域事業者等が地方創生SDGsに取り組む意思を宣言する	地域事業者等が地方創生SDGsの取組を表明・自己評価し、登録する	第三者が、地域事業者等の地方創生SDGsの取組を評価し、認証する
目的	地方創生SDGsへ取り組んでいる、または今後取組もうとしている地域事業者等の奨励	地方創生SDGsへ取り組んでいる地域事業者等の奨励	地方創生SDGsへ取り組んでいる地域事業者等に対する金融機関等の支援機会の拡大
被認証主体(地域事業者等)の要件	地方創生SDGsに取り組む意思及び方針がSDGsの17のゴールと関連付けて明確化されていること		
	SDGsの169のターゲットに関連した目標及び取組計画が示されていること		
	目標に向かって取組を推進する能力・体制が整っており、それを第三者が確認できていること		

# 分析結果(企業)

## 「地方創生SDGs金融」の取組を推進する都道府県の数

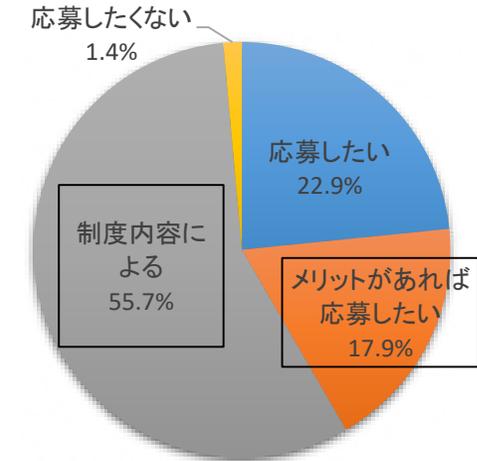


※出典：都道府県別地方創生SDGsの達成に向けた取組を推進している自治体割合(R3 内閣府)、各自治体HP

\* 「地方創生SDGs金融」に取り組んでいる都道府県は、4割程度

\* 創設府県の大半が「登録制度」を採用

## ネットワーク会員向けアンケート：「登録認証制度に応募したいか？」



※出典：北海道SDGs推進ネットワークアンケート(R2 北海道)

\* 制度利用の意向は、内容を見て判断するとの回答が7割以上

# 分析結果(企業)

○実際に取り組んでいる中小企業は少数。全国と比較しても積極的な企業はまだ少ない  
～SDGsの意義、必要性の理解促進が必要  
→ネットワークの更なる活用が必要

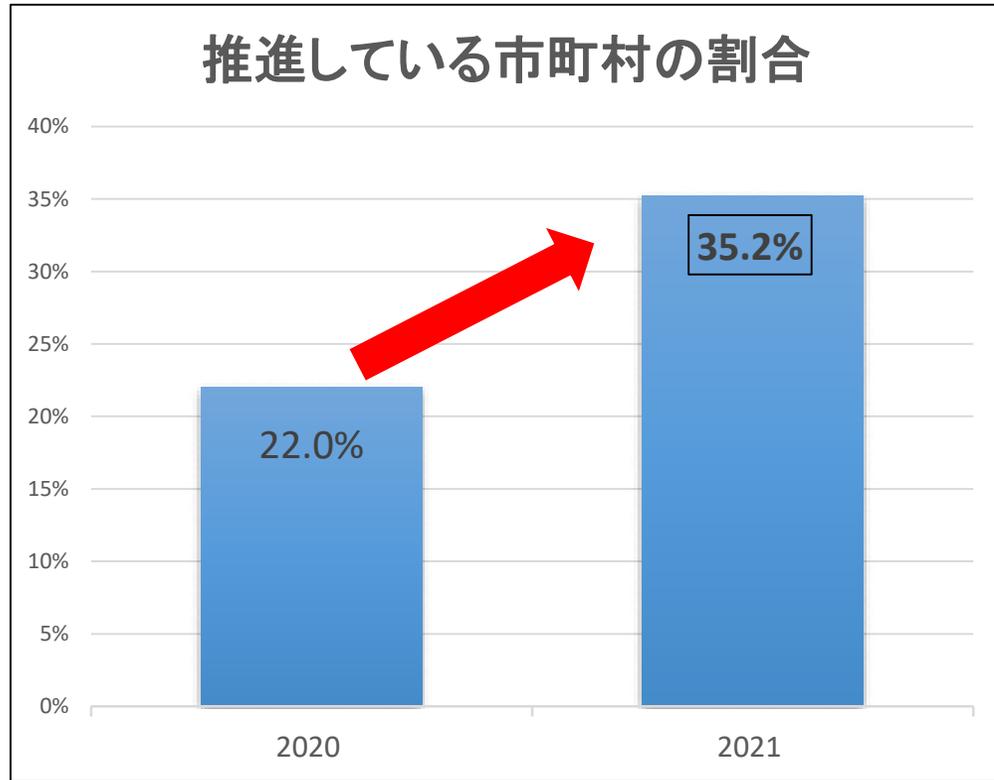
○ネットワークへのニーズ  
～会員のニーズは「具体的な取組事例」「セミナー開催情報」など、参考にできる情報収集  
→様々な企業における具体的な取組事例を広く収集・公開し、情報提供する必要

○「何をしたら良いかわからない」への対応  
～取組のきっかけづくりが必要  
→民間主体のソリューションを活用できないか

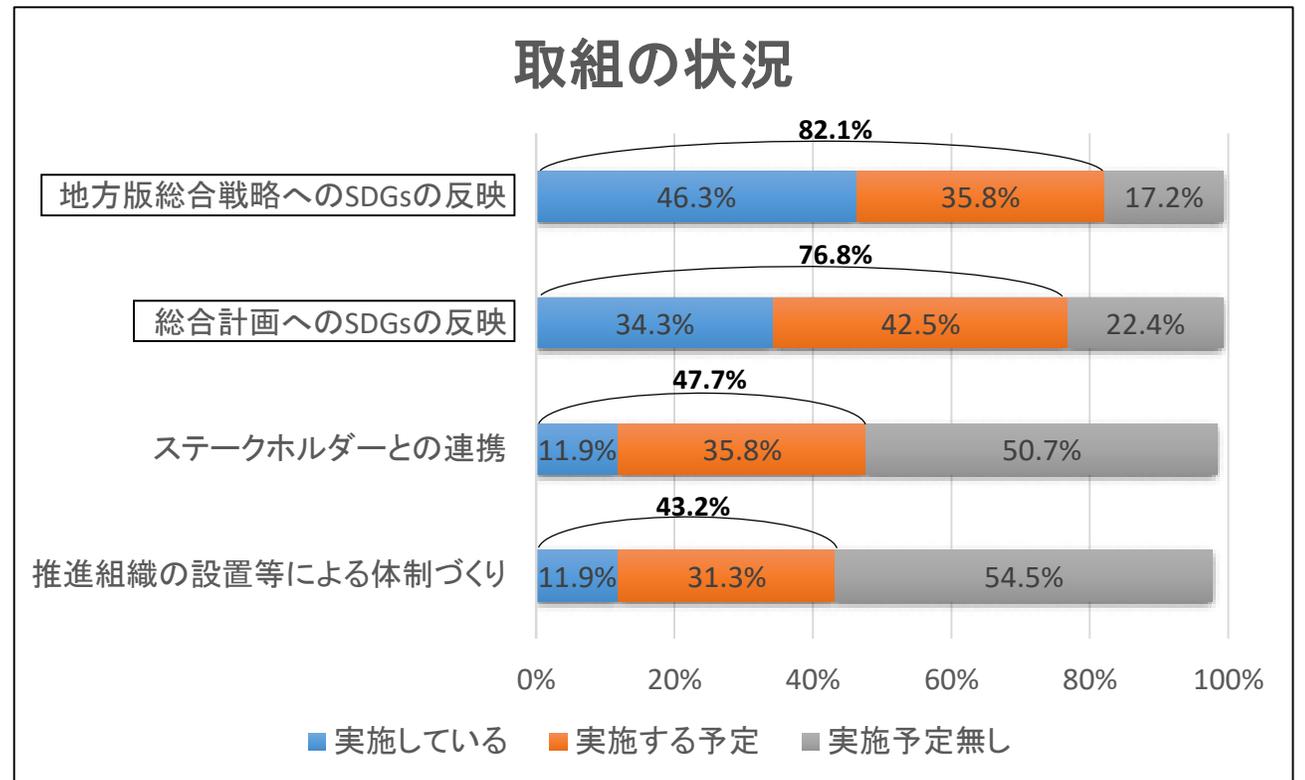
○登録・認証等制度について  
～登録・認証等制度の目的は、地域事業者等を「見える化」し、地域金融機関の支援の補助材料にすることで地域経済を活性化するもの  
～道内企業の大半が「様子見」との回答  
～他県の状況については、制度が創設されて間もないため、実際に投資につながっているかどうかが見えていなく、今後更なる調査が必要  
→企業の取組事例を収集・公表し、登録・認証等制度が目指す「取り組む企業の見える化」を進める必要  
→登録・認証等制度が目指す「SDGsに取り組む企業への融資機会の拡大」に向けて、道内企業が取り組むきっかけづくりと、取り組み始めた企業へのサポートが必要

# 分析結果(市町村)

## ○ データ等



※出典: 都道府県別地方創生SDGsの達成に向けた取組を推進している自治体割合(R3 内閣府) SDGsに関する市町村向けアンケート(R2 北海道)

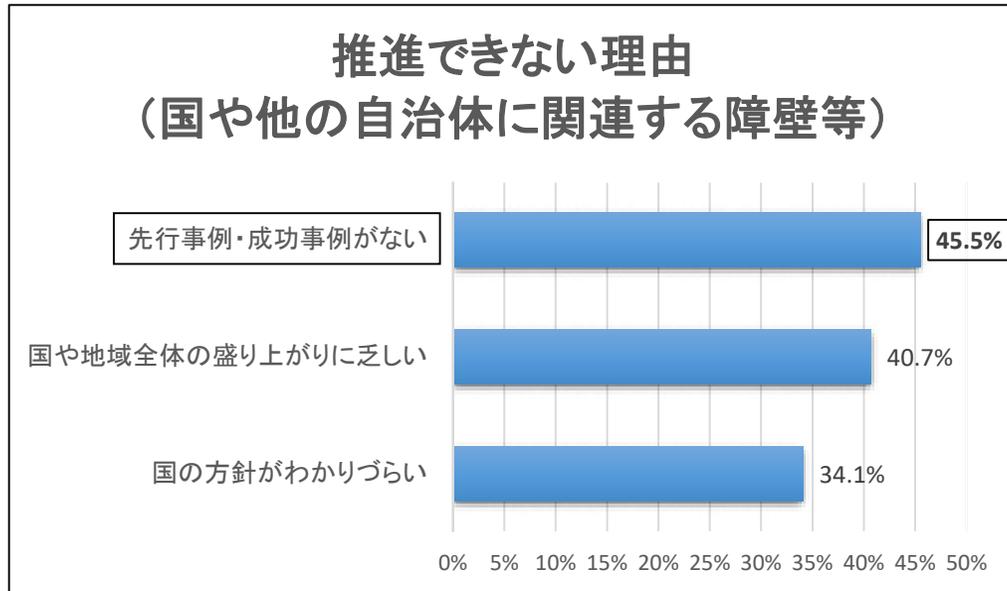


※出典: 都道府県別地方創生SDGsの達成に向けた取組を推進している自治体割合(R3 内閣府)

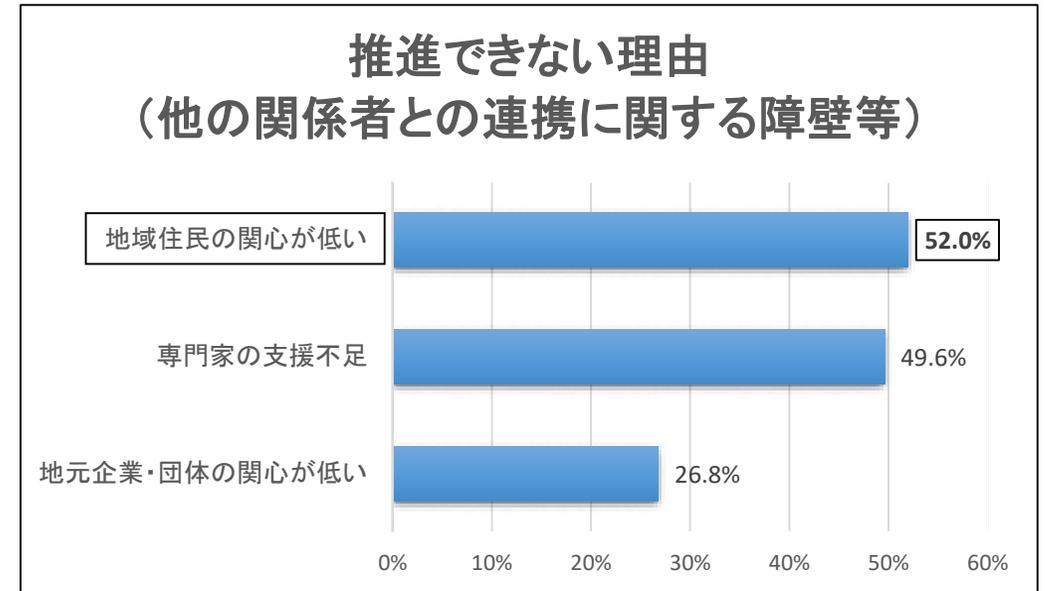
\* 推進状況は向上しているがまだ4割弱

\* 自分たちが持っている計画へのSDGsの反映から始める意向が強い

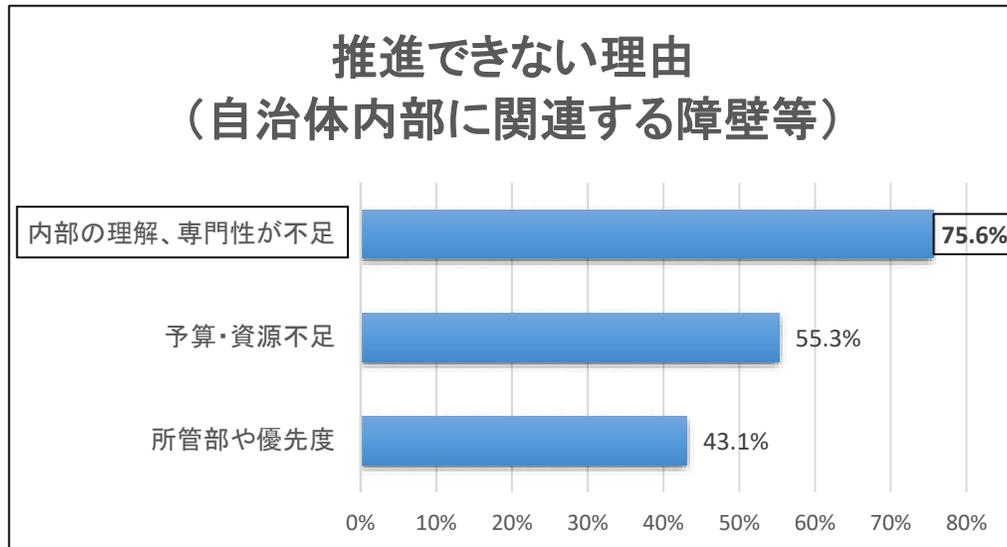
# 分析結果(市町村)



※出典:SDGsに関する市町村向けアンケート(R2 北海道)



※出典:SDGsに関する市町村向けアンケート(R2 北海道)



※出典:SDGsに関する市町村向けアンケート(R2 北海道)

\* 市町村が取組を進められない主な要因としては「先行事例がない」、「知識不足」、「住民の関心が低い」等

# 分析結果(市町村)

○道内で取組を進めている市町村は4割弱

先行事例がない、知識不足、住民の関心が低いのが進まない主な要因

→自治体内の知識不足が主な要因と考えられる。必要性を認識してもらうことが重要

○市町村で関心があるのは、自治体が有する各種計画への反映

→モデルの全道市町村への横展開を目指す

○道民の自治体に対する期待は大きい

→住民に最も身近な存在として「住民と共に取り組む」役割を求められているのでは

# 分析結果(総括)

## <道民>

- 道民は「自らもやったほうが良い」と思っているが、「何をすべきか」がわかっていない  
→道民の皆様が行動に移るための「きっかけ」が必要
- 10代の若い人たちは、SDGsへの関心も高く取り組むことに抵抗がない  
→若い層を核としてまず行動をはじめ、徐々に関係者を巻き込んで活動を展開してはどうか
- 道には計画やビジョンの普及を求めている  
→今のビジョンをわかりやすくお伝えすることが必要

## <企業>

- 道内の大半を占める中小企業における取組が少ない
- 企業は「取り組んでいる暇がない」「取り組み方がわからない」「情報がほしい」  
→企業のニーズに対応した情報の提供や対応などが必要  
その際には、民間の力を活用することを検討
- 登録認証制度について  
→登録認証制度が目指す「取り組む企業の見える化」を進めるほか、  
「SDGsに取り組む企業への融資機会の拡大」に向けて、道内企業が取り組むきっかけづくりと、  
取り組み始めた企業へのサポートを実施

# 分析結果(総括)

## <市町村>

- 市町村の多くが取り組むべきかどうかで迷っている。  
→ 市町村職員のみならず幹部においてもSDGsの必要性を理解することが重要
- 多くの市町村がSDGsの取組の第一歩としては、計画への反映から始めていくことを選択  
→ 第一歩として各種計画への反映を進めていき、  
最終的には行政活動全般へ広く展開していくことを目指す
- 地域住民はSDGsの推進に関し、行政に大きな期待を寄せている  
→ 道、市町村がそれぞれの役割分担のもと、道民の皆様と共にSDGsの推進に取り組む必要

## <道>

- 道に求められている役割  
→ 道民向け:市町村・企業等との連携、SDGsの計画やビジョンの策定・普及  
→ 企業向け:SDGsに関する情報提供  
→ 市町村向け:ガイドラインの提供、理解促進のため情報提供、担当者向け研修会

# 今後の方向性(多様な主体に期待する役割)

## <道民>

○ 市町村と連携して、身近な活動における地域のSDGsを  
実践していく

→ 当面はSDGsに関する知識  
を習得し、自分の関心のある  
テーマを「自分ごと化」し、で  
きることから取り組んでいく

## <企業>

○ 企業活動としてSDGsに取り  
組むことにより、企業価値の  
維持向上とビジネスチャンス  
の拡大を図るとともに、道内  
におけるSDGsの推進に寄与  
する

→ 当面はSDGsの理解ととも  
に、経営方針へのSDGsの導  
入や本業を通じた取組の展  
開など、自社の事業を通じ取  
り組めるところから実践して  
いく

## <市町村>

○ 住民にとって最も身近な行  
政機関として、地域における  
SDGsの実践者として取り組  
む

→ SDGsを学び、市町村の各  
種行政活動におけるSDGs  
との関連性を理解し、実践  
する

→ 地域住民との活動におい  
て、SDGsとの関連性や実  
践におけるアドバイスを実  
施するなどして、住民への  
理解促進を図る

# 今後の方向性(道の役割)

## <道民>

- 市町村を通じた普及促進を図るほか、次世代による取組を促進し、地域における機運の醸成を図ることで、SDGsを「自分ごと化」するきっかけとする

## <企業>

- 北海道SDGs推進ネットワークにおける情報提供の機能強化や「取組の見える化」を図るとともに、SDGsに取り組む企業への融資機会の拡大に向けて、民間企業等と連携し、道内企業が取り組むきっかけづくりと、取り組み始めた企業へのサポートを行う

## <市町村>

- 最大の主体である道民への普及促進を図るため、市町村への支援を強化し、市町村におけるSDGsの推進を通じて道民への幅広い普及を目指していく

# 今後の方向性(道の役割)

## <道民>

### ○ 次世代への働きかけ

- 高校生の取組紹介
  - ・SDGs交流セミナーにおける動画紹介など
- 高校生の市町村モデル事業への参画
  - ・地域意見交換会への参加など
- 高校生と連携を希望する企業とのマッチング手法の検討
  - ・高校生の取組を企業が支援する制度の検討

### ○ ビジョンの明確化

- 新型コロナウイルスを含めビジョン策定後の経済社会情勢の変化への対応状況、具体的取組内容を取りまとめ、ホームページ等で広く情報発信する

### ○ 普及啓発

- SDGs交流セミナーの開催、出前講座の実施、市町村広報誌への掲載など

# 今後の方向性(道の役割)

## <企業>

### ○ ネットワークの機能強化

→ 情報提供

- ・会員企業の取組事例を収集し、HPで公表するほか、メルマガなどでも紹介  
～情報を求める企業からのニーズに対応するほか、SDGsに取り組む企業を「見える化」し、企業価値の向上を図る

### ○ SDGsに取り組む企業の拡大

→ 取組のきっかけづくりとその後のサポート

- ・民間主体の有するSDGsに関するソリューションを会員に提供
- ・具体的な取組に移行した企業へのサポート体制を構築

# 今後の方向性(道の役割)

## <市町村>

### ○ 市町村トップへの働きかけ

- 市町村長セミナーの開催
- ・市町村長等幹部職員へのセミナーの全道展開  
～必要性についての理解促進

### ○ 担当職員の能力向上

- 市町村モデル事業の横展開による推進支援
- ・担当者向けの研修会の全道展開  
～市町村モデルを活用した課題解決手法の共有

### ○ 取組への支援強化

- SDGsに取り組む(取り組みたい)市町村への支援強化
- ・担当者がSDGs導入に向けた相談等を気軽にできるような窓口をつくり、自由に相談、意見交換ができるような場を設定
- ・市町村のニーズに応じて解決策を共に検討
- ・内容によっては、ネットワークを活用し、北大や会員企業からのサポートも活用